※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １１０ |
|---|---|

# 令和５年度　地理・歴史科

| 教科 | 地理・歴史 | 科目 | 地理総合 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校 新地理総合（帝国書院）<br>新詳高等地図（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 新編　地理資料　２０２３（東京法令出版）<br>データブックオブ・ザ・ワールド　２０２２年版（二宮書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理的事象に「なぜ」の視点を持ち、その答えを表現する
・地図や統計などさまざまな資料に親しむことで、地理的技能や地理的見方・考え方を習得する。
・現代世界の課題について認識を深めながら、課題解決のために自ら考え、行動できるようにする。

## ２　学習の到達目標

・現代世界の地理的認識を深める。
・地図や統計など諸資料から課題や背景を読み取ることで地理的技能や地理的見方・考え方を習得する。
・現代世界の課題について主体的に考え、社会の形成に参画していくための行動や態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | 地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、様々な要素、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。 | 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を目指して課題を主体的に追及・解決しようとしているか。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 第1部　地図でとらえる現代社会 | 第1章<br>地図と地理情報システム<br><br>第2章<br>結びつきを深める現代社会 | a：地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、その情報を収集し、読み取り、まとめる基本的な技能を身に付けている。<br>また、世界の地域構成を示した地図の読図などを基に，方位や時差，日本の位置と領域，国内や国家間の結び付きについて理解している。<br>b：地図や地理情報システムを目的や用途、内容に合わせて適切に活用することができる。また現代世界の地域構成について、主題を設定し、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。<br>c：地図や地理情報システム、および現代世界の地域構成について，よりよい社会の実現のために主体的に追究，解決しようとしている。 | 考査<br><br>小テスト | 考査<br><br>発表<br><br>プリント | プリント<br><br>発表<br><br>振り返りシート |
| 2学期 | 第2部　国際理解と国際協力 | 第1章<br>生活文化の多様性と国際理解<br><br>第2章<br>地球的課題と国際協力 | a：世界の人々の生活文化が地理的環境から多様性をもつことや，変容すること、互いに尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。<br>また世界各地でみられる諸問題について、傾向や関連性などを理解し、解決には各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。<br>b：世界の人々の生活文化や諸問題について、様々な条件に着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c：生活文化の多様性と国際理解、地球的課題と国際協力についてよりよい社会の実現のために主体的に追究，解決しようとしている。 | 考査<br><br>小テスト | 考査<br><br>発表<br><br>プリント | プリント<br><br>発表<br><br>振り返りシート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 第3部 持続可能な地域づくりと私たち | 第1章<br>自然環境と防災<br><br>第2章<br>生活圏の調査と地域の展望 | a: 自らの生活圏でみられる自然災害や地理的な課題への備えや対応の重要性を理解するとともに、ハザードマップをはじめとする各種の地理情報について、情報収集、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。<br><br>b: 防災や地理的な課題について、様々な条件や地域性に着目して課題解決のための取り組みなどを多面的・多角的に考察し，表現している。<br><br>c:自然環境と防災、地域の展望について，よりよい社会の実現のために主体的に追究，解決しようとしている。 | 考査<br><br>小テスト | 考査<br><br>発表<br><br>プリント | プリント<br><br>発表<br><br>振り返りシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度